

1601

昭和辛未

昭和六年元日



「札ふら
いくらでも
喰ふ」

「大變な
奴だ」



1602

支那貸付話

昭和六年一月十日



加奈陀
十億円
貸そうか

日
俺は
一文も
貸さ
ない



米
五億円
貸そうか

支那
めろく無い話だ





1603
急行列車墜落 (廣島縣にて)
昭和六年一月十三日
死傷百五十名



1604

東京市の借金

昭和六年一月十七日



江戸紫の達引に

無理算段の六億両

かさの雪ふり軽けれど

かりた金ふら思ひ(重い)の種

こりや一と思案

せずはふる

まい

六億二千両



いかにせむ

この借金を

我ものこ

思へど重き

この借金を

1605

浜口首相退院

昭和六年二月廿日



1606

首相代理と敵党

昭和六年一月廿二日





1607

乾坤轉の兆

昭和六年一月廿四日



1608

理科優等生

昭和六年一月廿六日

全国高等学校入学者志願者数(一月二十四日現在)

校名

文科

理科

合計

一	高	七九八	一〇六一	一八五九
二	高	二〇六	八八二	一〇八八
三	高	五〇三	七四〇	一二四三
四	高	二三八	六一八	八五六
五	高	三三〇	五四三	八七三
六	高	二一〇	五二七	七三七
七	高	一六三	二七四	四四二
八	高	二九七	五九七	八九四
新	本	一三六	二五五	三九一
山	口	二〇四	三九五	五九三
山	口	一九四	三三九	五二八
水	戸	一九五	三一三	五〇八
山	形	二九〇	四九六	七八八
佐	賀	二六一	四一四	六七五
弘	前	二五七	二八九	五四六
松	証	二三八	四六二	七〇〇
東	京	二九四	一五〇	二四四
大	阪	二二七	五〇五	七三二
浦	和	三三二	五一九	八五一
福	岡	二一〇	三八一	五九一
静	岡	三一八	三五五	六七三
高	知	二一〇	二四三	四五三
姫	路	一六四	三一二	四七六
廣	島	二二六	三三〇	五六六
合	計	六四〇三	一五九〇	一七七九三



1609

幣原井上苦戦

昭和六年一月三十一日



1610

レヴェー

昭和六年二月一日



1611

幣原首相代理失言

口は禍のみご

昭和六年
二月三日

民政
シマツタ

政友
シメタ！
うまく
引つかかった



1612

幣原首相代理失言問題

昭和六年二月三日



首相代理

国防は天賜

の事いことは御批

達にあるて居

る子由て明

かである

大勢

何と

代理

あいや、

全責任生政

府がもつ

大勢

「面割た

たんで仕舞へ



1613

街頭藝術(雪達摩衰亡)

昭和六年二月十四日(積雪寺五分)



九段上

清島町

神田錦町

麹町區綾町前

浅草菊屋橋

上野池畔

銀座裏

四谷通り

所橋附池



1614

無理未注文

昭和六年二月十九日



政友

「首相はイツ
登院するが

ハッキリと

返答致セ

政府

「サーを此は...

故障が起らねバ

来月上旬は

出られろ



官立高等諸學校學生生徒數

昭和六年二月廿日(本籍別)



官立高等諸學校學生生徒數

(本籍別)

全國官立高等諸學校學生生徒は總數六萬八千八百九十五名の多きに及ぶがこれを本籍別にすれば次の如くである、そのうち最も多く官學生を出してゐるのは東京の五千九百六十名で福岡、兵庫、大阪、愛知、廣島等これに次ぎ最も少いのは南國邊津地神繩の百十三名で人口一萬について見れば佐賀の十九名八が首位となり山口、香川、鳥取、岡山、石川等の順に下つて最少はやはり神繩の二名である

官立高等諸學校學生生徒數 一人人口一萬に對する比

神奈川	一、五〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
東京	一、九六〇	一、一八〇	八、〇〇〇
千葉	一、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
埼玉	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
群馬	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
茨城	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
栃木	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
群馬	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
山梨	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
長野	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
秋田	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
宮城	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
岩手	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
青森	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
北海道	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇

計	六八、八九五	一、一八〇	八、〇〇〇
神奈川	一、五〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
東京	一、九六〇	一、一八〇	八、〇〇〇
千葉	一、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
埼玉	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
群馬	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
茨城	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
栃木	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
群馬	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
山梨	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
長野	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
秋田	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
宮城	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
岩手	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
青森	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
北海道	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
山梨	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
長野	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
秋田	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
宮城	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
岩手	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
青森	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
北海道	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
山梨	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
長野	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
秋田	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
宮城	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
岩手	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
青森	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇
北海道	八、〇〇〇	一、一八〇	八、〇〇〇

1616

流感猖獗

昭和六年二月二十一日



肺炎

「又カルホ

あとほ

俺が

引き

うける

流感

「オット

合点



1617

凄文句(首相に辞職勧告)

昭和六年二月廿八日



花井卓藏

三日月様じゃあるめいし
 宵子ちらりと顔見せて
 すぐヒツコミは御免だよ
 よしんばつてけて出た處で
 あのにこくの病人を
 相手に喧嘩も
 出来めいが
 オイ
 ロボット
 いやさ
 喜重郎どん
 無理ふ義理立て
 しやうより
 早く隠居の身子
 ゆるく保養を ぶつて
 卓藏様を仰しやつたと
 浜口親爺が言つて
 くんねい



1618

胡漢民拘禁さる

昭和六年三月二日



蔣
我等の心に背く奴原
ドイツコイツ
の用捨は
あい



1619

縮裁の格付(試験官三木武吉)

昭和六年三月四日



	性 格	経 歴	識 見	聲 望	人 品	意 見 の 豊 乏	金 融 力	計 画	平 均	印 象
濱 口	100	100	90	100	80	100	100	670	95	100
江 木	80	80	90	70	70	80	80	570	81	60
安 達	70	90	60	70	70	100	70	540	77	60
宇 垣	70	90	70	80	80	50	90	530	75	80
田 中	80	80	50	80	80	50	100	520	74	80
三 木	80	80	80	70	70	60	70	510	73	60
床 次	50	80	80	80	80	60	80	510	73	80
大 巻	70	100	80	70	40	50	0	430	61	50

1620

死刑執行数

昭和六年三月六日



最近の死刑執行数

年代	男	女	計
大正四年	八四	一〇	九四
同五年	五四	二	五六
同六年	五二	一	五三
同七年	四九	一	五〇
同八年	四〇	三	四三
同九年	三八	一	三九
同十年	三〇	一	三一
同十一年	三〇	一	三一
同十二年	二八	一	二九
同十三年	一三	一	一四
同十四年	一〇	一	一一
昭和元年	二八	一	二九
同二年	二二	一	二三
同三年	二〇	一	二一
同四年	一三	一	一四
同五年	一五	一	一六
平均	三四	一	三五

【備考】大正四年に同じく多いのは前牛園大橋につき執行を控へたためである



1621

内親王御降誕

昭和六年三月七日



1622

浜口首相登院

昭和六年三月十日





還着於本人

昭和六年三月十日



大谷光演(句佛)禁足命令

鬼

「京都に居
れ裁判所
の許可なく
して居佳地を
離れてゐらん



1624

政民

戦術の研究

昭和六年三月十七日



友政

甲
ヒラリと
身をかが
はして

甲
コレで
散々
ふぐり
つけて

乙
ヒルム處
をスバリ
とやろう

乙
只た
こゝろ
きま
め
め
め







1626

動物展覽會(闘犬)

昭和六年三月廿日



1627

久通宮邦英王御落第

昭和六年三月二十三日



東京帝國大學

邦英王
學習院の優等生

落第するのが恒例だ



1628

第五十九議會終る

昭和六年三月廿七日

民政「ア、苦しかった」



收穫

自一月一日
至三月三十一日

昭和六年三月三十一日



男爵新田忠純	星野庄三郎	藤井健次郎	渡辺十才	大槻如電	高島九海	賀古鶴	沢村真	大滝勝三郎	梅沢和軒	斯登寺六郎	ジヨツアル
六七	六二	六〇	五四	八七	八二	七五	六七	八三	六一	六九	七九
有尾敬重	南部辰丙	日比翁昭	湯淺一郎	中島正武	掛下重次郎	久米邦武	関三十郎	大塚保治	狩野操令	松浦五良房	鈴木殿村
八五	七六	七二	六三	六二	七五	九三	五三	六四	六二	五七	五七
河合耕太郎	面幸吉	水多日生	サ、キルネエリオト	三木善八	鴻池善右門	本郷房太郎	ハルミン・ミユラー	高尾享	アールド・ベンゾット	鈴木三郎助	鏡保之助
六七	七七	六七	六九	七六	六七	七二	五五	五六	六五	六五	六五
廣田精一	今泉雄作	山下啓次郎	二見鏡三郎	松室致	岡本則録	中島鵬	男爵山下源太郎	鉄島武之助			
六二	八二	六四	七六	八〇	八五	四七	六九	八四			

1630

マナタワ大地震(死者二千)

昭和六年三月三十一日





1631

外人の見たる日本人
昭和六年四月二日



1632

諸君請ふ悲觀する勿れ

昭和六年四月四日



官吏

実業家

学者

藝術家

労働者

学生





1633
暹羅皇帝西陛下御來朝
昭和六年四月七日
大徳

古民謡

昭和六年四月八日



この民謡は不可測の古代に於て今の北海道に住せる系統不明の民族の間に行はれたるものなり。今日の追分節はこれより變化したること明瞭なり

Rom, ocaim, onam,
 Init oraret,
 Em iwas,
 Teob nedoc,
 Onit orit,
 Ucus imam,
 O nay!

1635

浜口首相三たび手術を受く

昭和六年四月八日



藤田
獣医で
おく
ちや
うまく
いか
いん
がだ



① 一ニの韻

1. Sansa sigureka
 Kayanono ameka,
 Otomosede Kite
 Nure kakaru. (A)

2. Takai yamakara
 Tanisoko mireba,
 Uriya nasubino
 Hana zakari (A)

3. Osyoro takasima
 Oyobimo naiga,
 Semete utasutu
 Isoya made. (A)

② 一三の韻

1. Kisono Ontake sanwa
 Natudemo samui,
 Awase yaritaya
 Tabi soete. (A)

2. Akino Miyazima
 Mawareba sitiri,
 Nanae nanaura
 Nana ebisu (A)

1636

俗謡

昭和七年四月十日

調押韻

士三法

其一

法

大

建

築

学

会

大

建

Ⅲ 一四の韻

1. Miura misaki ni
Donto utsu nami wa
Kawai nushisan no
Dokyo dameshi

Ⅳ 一二三の韻

1. Ote uresiya
Wakareno turasa,
Ote wakarega
Nakerya yoi. (A)

2. Omae hitorika
Turesyuwa naika,
Turesyu atokara
Kagode kuru. (A)

Ⅴ 一二四の韻

1. Sakawa teruteru
Suzukawa Kumoru,
Aino Tutiya
Amega furu. (A)

2. Koito yutatote
Yukaryoka sadoe,
Sadowa sijugori
Namino ue. (E)

3. Hakone hatiriwa
Kagodemo Kosuga,
Kosuni Kosarenu
Oi gawa. (A)

1637

俗謡(七七五調)押韻法
昭和六年四月吉日



⑤ 一三四の韻

1. Isewa tudemotu
 Tuwa isedemotu,
 Owari nagoyawa
 Sirode motu. (U)

⑥ 一三四の韻

1. Tosawa yoitoko
 Minamio ukete,
 Satuma Orosimo
 Soyo soyoto. (O)

2. Omae hitorito
 Sadamete oite,
 Atowa sonohino
 Deki gokora. (O)

3. Rikyue ojarunara
 Jojohaite ojure,
 Rykyuwa isiwara
 Koisi wara. (A)

⑦ 一ニ, 三四の韻

1. Kokowa Banjomati
 Gomikawa sodati,
 Saite miseyoka
 Kakitubata. (I, A)

⑧ 一ニ, 三四の韻

1. Nadera yamakara
 Nattobati mukute,
 Sorede yonezawa
 Ito darake. (A, E)

1638

俗謡(七七五調)押韻十三法
 昭和六年四月十日

(其三)



㊦ ニ三の韻

1. Makete hadakade
Tugunda tokiwa,
Tumayori daijina,
Daki hibati. (A)

㊦ ニ四の韻

1. Saita sakurani
Naze koma tunagu
Komaga isameba
Hanaga tiru (U)

2. Nidoto yukumai
Tangono miyatu
Simano saifuga
Karato naru (U)

3. Isode meisyouwa
Oarai samayo
Matuga miyemasu
Honobonoto (O)

1639
俗謡
昭和七年四月十日
押韻士三法
其四


(XI) ニ三四の韻

1. Kimito wakarete
Matubara yukeba,
Matuno tuyuyara
Namida yara. (A)

2. Nisiwa oiwake
Higasiwa sekisyo,
Semete hakoneno
Seki mademo. (O)

3. Sanzen mairuno
Namikaze Koete
Siora siixoe
Rosia no Fune

(XII) 三四の韻 (ニ聯)

1. Kawai Katugoro
Kurumani nosete,
Hikuya hatuhana
Hakone yama. (A)
Momijino arunoni
Yukiga furu,
Sazo samukaro
Tumeta karo. (O)

(XIII) 一ニ三四の韻

1. Hiroi Sekaini
Witorino Watasi
Oyamo Komo nai
Kane mo nai. (I)

1640

俗謡(七七五調)押韻士三法
昭和六年四月十日
(其五)



昭和六年四月十二日



能陀利那	呼羅薩	爛牟	洪論	唐邊牧	汚歎沈	須侃彬	觀沙蕭	悉磬那	摩阿摩	堵迷恩納	吳縣寧
嶺多利那	敦茶利	朗積	難陀	朴年仁	樊柯通	毛沈煥	併多那	謝洛蔡	鞋咤	曹芳	
阿羅沙	波涅他	絢化	吠蘭明	陳景統	殷遲毅	馬華瑯瑯	愛多咀	慶智鎧	摩旦世	姜叔	



1642

食傷御用心

昭和六年四月十四日



外務	内務	大藏	海軍	陸軍	司法	文部	農林	逓信	鐵道	商工	拓務
駐外	警務	井上	安保	南	渡辺	田中	小泉	江木	櫻内	原	



内閣総理大臣
民政党総裁
若槻礼次郎閣下

1643

西班牙王國滅亡共和國とある

昭和六年四月十四日



米 國

1645

米英富豪の年收
昭和六年四月二十日



年 收(一万円單位, 一ドルニ円換算)

人 数

10 — 12

8595

12 — 14

5841

.....

20 — 30

6347

.....

200 — 300

231

300 — 400

122

400 — 600

66

600 — 800

82

800 — 1000

17

1000 —

36

英 國(一万円單位, 一ポンド十円換算)

75 — 100

104

100 —

130

1646

北洋漁業問題(其一)

昭和六年四月二十七日



露「四十銭はまけろ」

「サ！
出かせ
やうぜ」

日「三十銭はまけろ」



1647

日露北洋漁業問題(其二)

昭和六年五月一日



1648

日本児童の身長と体重

昭和六年五月一日



◇ 男子

年齢	身長	体重
一歳	二、四二	二、四二
二歳	二、七〇	三、〇一
三歳	二、九二	三、四六
四歳	三、一三	三、八八
五歳	三、三三	四、三〇
六歳	三、五一	四、六九
七歳	三、六七	五、一三
八歳	三、八四	五、六四
九歳	三、九九	六、一九
十歳	四、一三	六、七一
十一歳	四、二七	七、三一
十二歳	四、四一	八、〇〇
十三歳	四、五八	八、八九
十四歳	四、七七	九、九八
十五歳	四、九四	一一、二三

◇ 女子

年齢	身長	体重
一歳	二、三七	二、三〇
二歳	二、六五	二、八四
三歳	二、八四	三、三三
四歳	三、〇九	三、七四
五歳	三、二八	四、〇二
六歳	三、四六	四、四七
七歳	三、六二	四、九〇
八歳	三、七九	五、三九
九歳	三、九四	五、九二
十歳	四、一〇	六、五四
十一歳	四、二六	七、二四
十二歳	四、四二	八、一五
十三歳	四、五八	九、二三
十四歳	四、七〇	一〇、四二
十五歳	四、七六	一一、三二



1649

日米號出癸す

(吉原飛行
士の雄図)

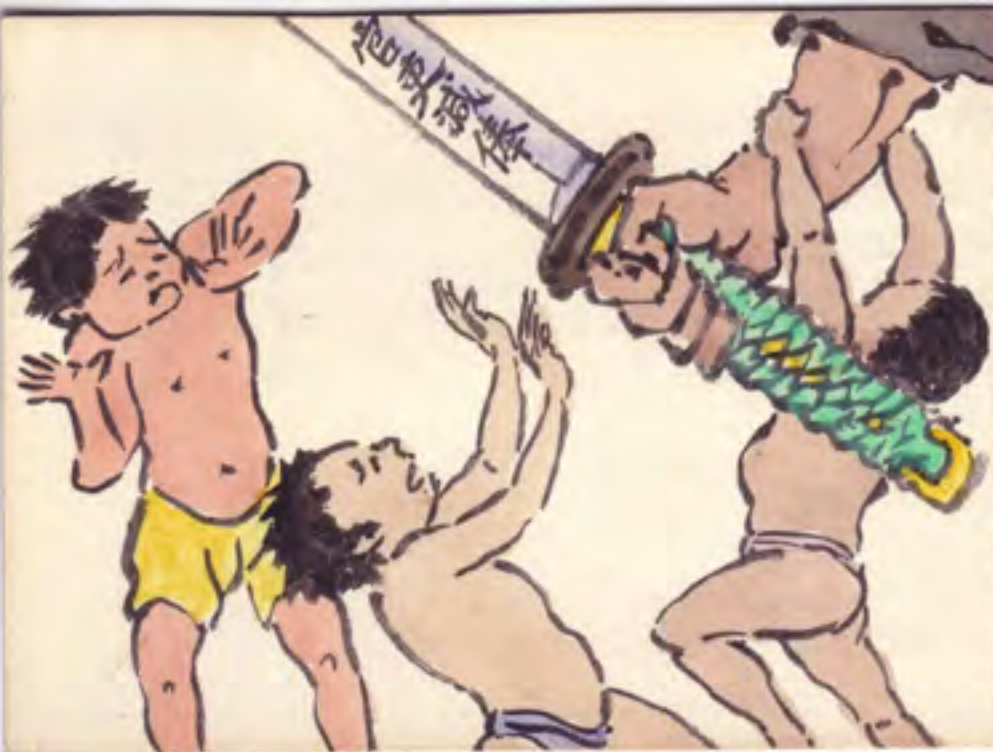
昭和六年五月四日



1650

物情恟然(官吏減俸問題)

昭和六年五月十九日



1651

官吏減俸断行

昭和六年五月二十六日



1652

減俸の收穫

昭和六年五月二十八日



若
チンダ
コレホチ
江
テモ
骨
が折
れた
井
骨折損
のクダビ
レ儲け
かね



1653

ヒガード教授の軽気球
昭和六年六月一日



成帯圏

耐流圏

15000

16000 軽気球

10000

13159 陸上飛行機

11677 水上飛行機

5000

老雲

エヴェレスト 8840

3080 飛行船

富士山 3768

乱雲 1000

和歌の頭韻

昭和六年六月十日



あさちふの

あつしのはら

しのぶきと

あまうてあとが

ひとのとひーき

あさけらけ

うちこかはきり

たえく

あらはきりたる

せいのあーろき

ありあけ

川北なくみえ

わかきより

あかつきはかり

うき力のはふし

1655

和歌の頭韻

昭和六年六月十日



あーみきの山鳥の尾のーたり尾の

ア韻

あかき田のありはういはのよまをあとみ

全

わかころもてはう甲にぬきつー

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

あけぬきをはくろくぬのとはしうふあふ

全

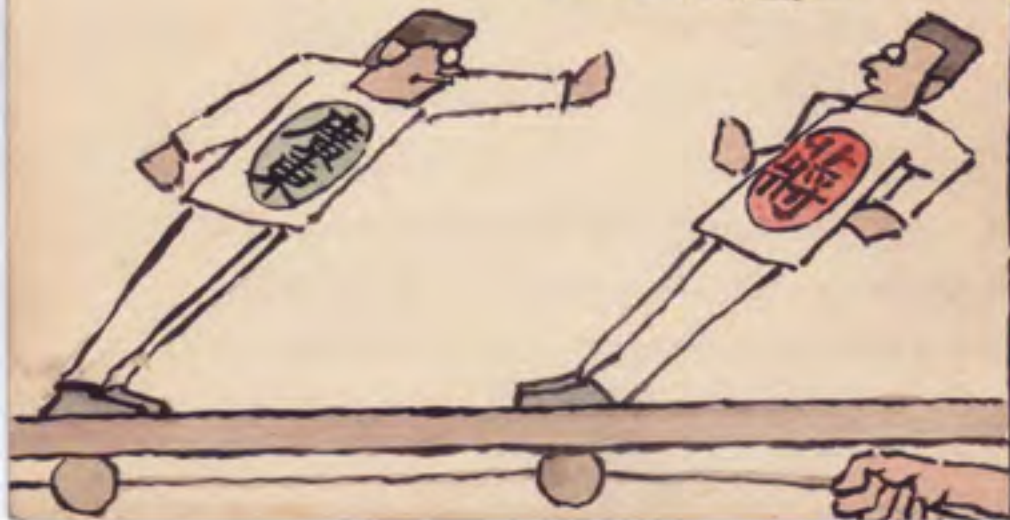
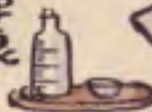
1656

支那年中行事

昭和六年六月十二日



張學良
面白いか



1657

世は逆しま蟻が蛇を呑んだ

昭和六年六月十三日

小石川植物園より
五寸餘の蟻が一尺
二寸許りの蛇を呑
んだといふ空前の
珍事



1658

交通巡查

昭和六年六月十四日



四辺の

中に巡査が

呼び吹き

スズメ スズメ

チーイ チーイ

トマレ

入沢達吉



1659

神社は宗教に非ず

昭和六年六月十六日



皇室費の国家収入に對する比率

1660

贅澤なる印度諸王

昭和六年六月十七日



英吉利	1/1600
ベルギー	1/1000
ノルウェー	1/700
和 蘭	1/600
伊 太 利	1/500
丁 株	1/300
日 本	1/400
トラバソール	1/17
マイソール	1/14
ハイダラバード	1/13
バ ロ ダ	1/13
カシール	1/5
ピカ子ール	1/5

1661

朝鮮大掃除

昭和六年六月十七日

見玉

奇藤

仙石



1662

米大統領の提案

昭和六年六月二十一日



米

「戦債及び
賠償金
支拂は
一年猶豫
する

独

「有り難い、
お蔭で
助かります

佛

「一寸
待つて呉れ

日

別に……異……
存……は……

「有り難い、
お蔭で
助かります



博士(医博士)総数の七十一パーセント
昭和六年六月二十五日

昭和六年六月二十五日



博士人員一覽表

團學協會に依るもの
新學協會に依るもの

會計學

三

るに位類
依令事
るに位野
依令事
計

國士會館

三三三

王明博士
李金
王明博士
李金

文學博士
（一六五）
（一六六）
（一六七）

醫學博士
二〇
二〇
二〇

農學博士	二六	壹三
農學博士	二六	壹三

以導德士
以導德士

博士
上

二

三

應學博士
L
宣
藏

政治學博士 一 二 二

10

10



44

2

10

ハクシカハカセカ

知らふいが

ハクシは薄志と

人の口

ハカセはバカセと

京わらべ

知らぬが佛の

學者たち

粗製氫造

澆造と

噂をすれば

ハ！ハクシ

三四六のイ韻





市別人口

[illegible][illegible]

1665

東京市郊外の発達
昭和六年六月二十九日

昭和六年六月二十九日



町村別人口
(五萬人以上)

[illegible]

大東京の面積と人口

面積(平方料)	人口
一五五、六二	三、三九七、五一一
一九〇、一五	三、八三一、四六六
二一〇、二九	四、一六一、六二九
五七一、三六	四、九八六、五〇〇

[illegible]

1666

東京市隣接町村編入諸案



昭和六年六月十九日



1667

收穫

自昭和六年四月一日
至同 六月三十日
和六年六月三十日



島本愛之助 五三

卯平五六

坂本三郎六五

田邊碧堂六八

玉利喜造七六

アルバート・マイケルソンとハ

横山勝太郎 五五

篠原昌治五五

デウツド・バラスコ七七

桑原騰藏六四

久未民之助 七一

田付七太六五

杉浦俊香
八八

伊藤
藤博
邦
六二

五十嵐敬止 七二

二
男
開
六

守屋此助七

巽孝之至六八

北里柴三郎八〇

北村季晴六日

後開菊勢六六

山川健次郎

男爵

男爵

公醫

1668

ポスト・バグ・テイ世界一周
所要時間八日十五時五十一分



行程一萬六千百哩

赤道周圍二萬五千四百八十哩ニ對スル
百分ノ六十三余



1669

耐火構造建築工費
昭和六年七月五日

本統計ハ震災後東京下町ニ建築セラレタル
耐火構造建物五六棟ニツキゾ工費ハ衛生工
事等設備費ヲ含ムヲ詳細ニ調査シテ之ヲ
分類シタルモノナリ、例之バ三五円ヨリ四五円
迄ノモノハ二五三棟ニシテ大半ヲ占ム

坪当リ工費(円単位)

棟数

一〇〇〇以上

八

九〇〇

四

八〇〇

一〇

七〇〇

七

六〇〇

三九

五〇〇

一〇六

四〇〇

二五三

三〇〇

一二〇

二〇〇

一七

小児児童
午前十時の体温

温度 百分率

37°以下 20.6

37°-37.2 38.9

37.3-37.4 26.0

37.5-37.6 12.0

37.7-37.8 2.3



1670
鮮支乱闘萬寶山事件から
昭和六年七月六日
大衆

1671

學生赤化

昭和六年七月十日



財閥を倒せ
官僚を倒せ
〇〇を倒せ



1672

中元贈品

昭和六年七月十三日



取るものし

取るぬめつらふ

お互いに

捨つべきものは

盆暮の禮



①

1673

ルブリ機失脚

(飛行距離) 六千七百

昭和六年七月十四日



立川



「真ッ、
一と飛び
だぞ」



巴里

②

立川



「ア
痛ッ」



「ア
痛ッ」

巴里

1674

細雨盆を覆へす

昭和六年七月十五日



「通間を」通しの
雨はひどい

折角のお盆に

そこへお出られ

ぬーや





「開襟、而して又開襟じゃ」

1675

理想的夏服

昭和六年七月十七日



1676

山と水の犠牲

昭和六年七月二十日



山の精

たいが

獲物がある

水の神

豊年

だよ

1677

日支相闘く

昭和六年七月二十八日



1678

頑童(行財政整理難)
昭和六年七月三十一日



1679

支那喜劇(石友三の巻)

昭和六年八月二日



①

サ蔭
「……」



②

奉軍
曲者そこ
動くか



石
金を
貰ひたいんで



③

石
「助けてくれ」



④

石
少しは
儲かった



石
「平まで
撫で斬り
だぞ」

1680

拳闘

(日、仏、米の試合)
昭和六年八月四日



佛選手

一撃の下

KOさる

大正市(人口約六百万)

東京市(人口約二百五十万)

1681

大正十四 1925

—

660^回

大正十五 1926

25.185^回

732

昭和二 1927

24.341

691

昭和三 1928

25.949

714

昭和四 1929

29.723

749

平均

26.300

709

一回の火災の損害高

1.425^円9.043^円火災の
昭和六年八月十日
度敷と損害高備考 火災の損害は(火)に因るもの約 25%
(水)その他に因るもの約 75%

1682

廻文川柳

昭和六年八月十二日



くさのふはしらすめづらしはふのさく
みどににたかかをしにしかかたににとひ
さくかつはとうかさかうとはつかうさ
まこたかはたいこはこいたはかたこま
しきのけいくさはふはさくいけのきし
しにくらきいふかはかふいきらくに
かさまるくつましはしまつくるまふか
みふはるそ望うとうとうとてうはふみ
けさはふみたんあはあんたみあはさけ
きよあとのとくきんきくこのとあよき
てしちうてくるまあまるくてうちして
けうのぬかやすくてくすやかぬあうけ
りはくめしあしきんさーあしかくはり
いはたきよくさはあはさくよきにはい
しまていかりをうすうをりかいてま
ちつていよすぬすくすぬすよいてつち
かいあべたいやかかふやいたべあいか
むぬんさにみのくがくのみにさんぬむ
みあはるどくあくよくあくてるはふみ
ちうひかわみのくがくのみわかいうち
きふことをいくさのさくいおとこふき
はかとおみのとてしこのみふとかは
きつとめうたいかがかいたうめとつき

1683

支那官憲中村大尉主慘殺寸
(六月廿七日頃蘇鄂公府附近にて)



昭和六年八月
十七日記事

解禁

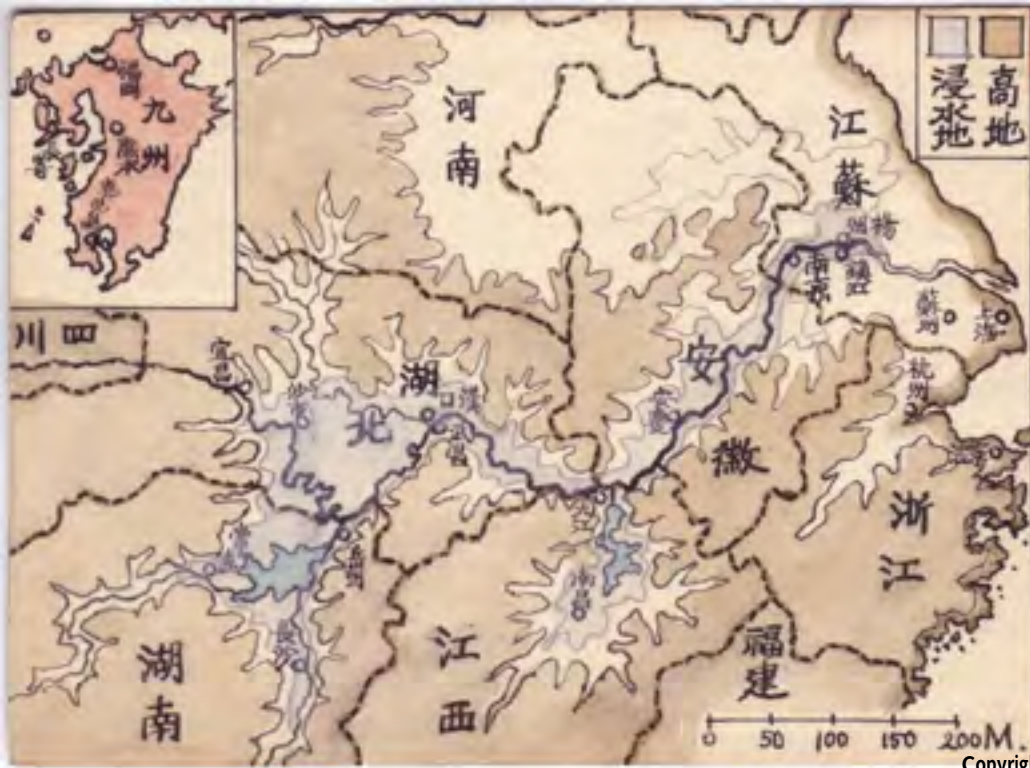


1684

長江未曾有の氾濫

昭和六年八月二十日

高地
浸氾



0 50 100 150 200M.



1685

飛行世界(日本のみぢめさ)

昭和六年八月廿四日

日本

「羨ましい」



1686

濱口雄幸死す（卒年）
昭和六年八月二十六日



相顔魁偉
一聲獅吼

威風堂堂
百獸咸悚



国歩有禍
巨星墜地

昊天無情
乾坤震慟

負傷手術とは全然無關係で横隔膜と
脾臓との間に放線状菌の膿瘍が出来、
その膿が横隔膜を破つて肺に突入した為
ありこそ、前後四回の手術は何れも完全
にて毫も遺憾あかりしとぞ
脳の重さ千四百九十五グラムとぞ

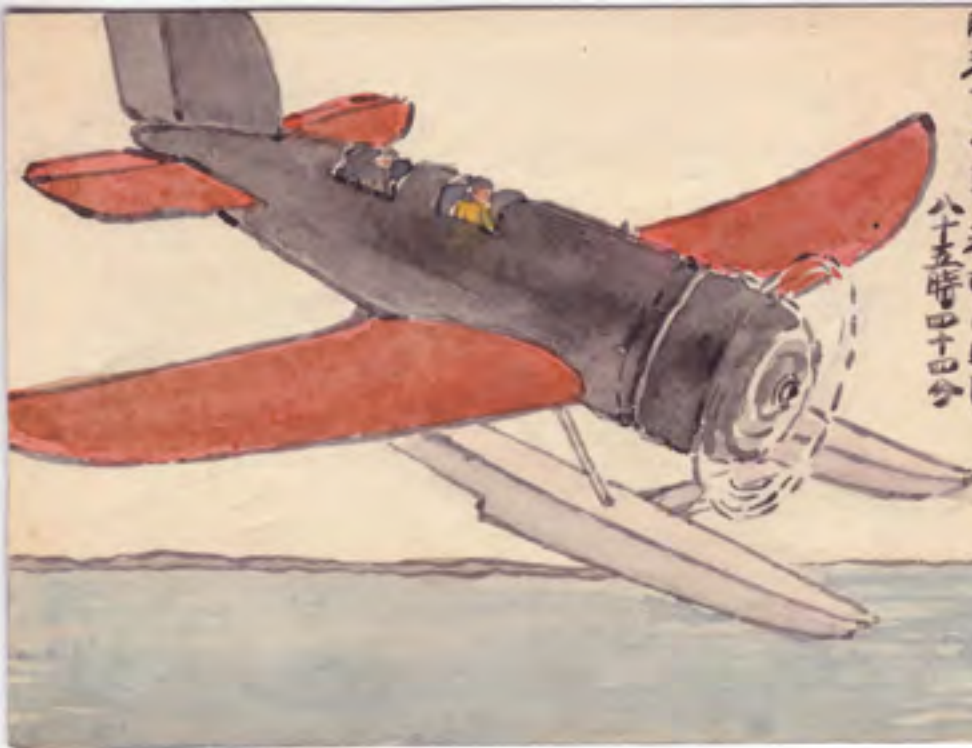
1687

リンドバーグ夫妻霞ヶ浦に着す

昭和六年八月二十六日

飛行機 万四千四百新所用時間

八十五時四十四分



1688

大正十二年関東大震災に對
する海外友邦の救援金額



国名	金品合計額(円)	国名	金品合計額(円)
北米合衆国	30,930,517	智利	17,898
英吉利	5,790,106	独逸	10,821
中華民国	2,599,774	ボリヂア	10,685
佛蘭西	451,428	露領アジア	10,585
和蘭	422,911	キューバ	10,402
ブラジル	306,193	ポーランド	6,693
ベルギー	228,796	スペイン	4,979
ペルー	198,864	ラトヴィア	4,368
メキシコ	137,850	パナマ	3,958
伊太利	88,140	墺地利	2,726
瑞典	85,996	ポルトガル	1,427
瑞西	64,874	諾威	1,170
アルハンチナ	63,151	トルコ	194
シヤム	61,562	ルマニア	75
チェコスロヴァキア	29,100	総計	415,710,53
国際聯盟(總計)	20,785	(昭和六年九月五日)	

1689

満州終に兵禍

昭和六年九月十九日

皇軍奉天城を占領す
(迅雷耳を徹ふに暇あらざる)



1890

飽く迄頑張れ

昭和六年九月二十日



1691

英國金本位を禁止す
昭和六年九月二十一日



「早く止めよう
金がうんた
流れ出て
出る」



1693

支那我が水災慰問品を拒絶す
昭和六年九月二十二日



日
ス
ドーあつて
受け取らぬが

支
ツ
ツ
折角だが
こりや
眞平
御免
だ



1694

國際聯盟干涉す

昭和六年九月二十三日

聯盟

「こらう喧嘩をしてはいかん



「日

こいつが
悪いんだ

「支

おちさん

こいつが悪いんだ





1698

腕の民族と口の民族

昭和六年九月二十五日

①「たぐいと突まんだぞ」



②「只だ」とおめだぞ

1697

逝ける人

自七月一日
至九月三十日
昭和六年九月三十日

男爵

藤波 南部

元雄 光臣

六六 六七

伊地知

壯熊 正長

六六 六八

丹羽

浅次郎 次郎

六九 七〇

島村

次郎 次郎

五九 七〇

田中

次郎 次郎

五九 七〇

坂田

次郎 次郎

五九 七〇

木村

鷹太郎 吉

六二 七二

人見

鷹太郎 吉

六二 七二

都路

華枝 吉

六二 七二

則元

華枝 吉

六二 七二

湯池

華枝 吉

六二 七二

九鬼

華枝 吉

六二 七二

坂口

華枝 吉

六二 七二

濱川

華枝 吉

六二 七二

一浦

華枝 吉

六二 七二

三浦

華枝 吉

六二 七二

吾孫

華枝 吉

六二 七二

提子

華枝 吉

六二 七二

降旗

華枝 吉

六二 七二

近藤

華枝 吉

六二 七二

藤

華枝 吉

六二 七二

達

華枝 吉

六二 七二

近藤

華枝 吉

六二 七二



1699

支那の真相

昭和六年十月三日



1700

北太平洋横断飛行始めて成功す

昭和六年十月六日



行程四千六百哩
所用時間四十二時間
操縦者
バングボリン
機名 ミス・ウーデル
出発地 淋代
到着地 五ノチ

